

社会資本整備審議会道路分科会 平成 27 年度第 1 回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 27 年 4 月 2 日 (木) 10:00～11:50

2. 場 所

広島合同庁舎 2 号館

3. 出席者

<委員>

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| ◎ <small>ふじわら あきまさ</small>
藤原 章正 | 広島大学大学院 国際協力研究科 教授 |
| <small>いいの きみお</small>
飯野 公央 | 島根大学 法文学部 准教授 |
| <small>うちやま せいいち</small>
内山 誠一 | 中国経済連合会 専務理事 |
| <small>こじま みつのぶ</small>
小嶋 光信 | 両備グループ代表兼CEO |
| <small>すずき はるな</small>
鈴木 春菜 | 山口大学大学院 理工学研究科 准教授 |
| <small>ふくだ きょうこ</small>
福田 京子 | 地域づくりネットワーク 代表 |

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

(1) 優先区間の絞り込みに向けた検討

山陰道(須子～萩)

山陰道(三隅～小月)

5. 結論

「須子～萩」、「三隅～小月」間の優先区間の意見聴取結果及び優先区間(案)について、妥当な内容と判断する。

6. 委員からの主な意見

○優先区間の絞り込みについて 山陰道(須子～萩)(三隅～小月)

- アンケート調査結果について、回収率として概ね平均的であり問題無いが社会全体の問題として回収率が低い状態。
アンケートの回収率を高めることは、手法も含め今後も検討することを宿題ということでお願いしたい。
- 山陰道は生活道路の位置づけと地域間交流の位置づけの観点がある。
地域活性化の観点からも、地域の利便性に考慮したIC配置など計画を立てて頂きたい。
- IC位置やルートなどの全体像を大まかに捉えつつ区間を考え、優先区間を絞り込むことが重要。今回選定した優先区間は不連続となっているが、物流の円滑化や安全面を考慮すると妥当な結果である。今後は区間毎の課題だけでなく、選定区間の連続性等も含め検討していくことが必要。

以上